

家庭学習の取組について

令和8年4月

1 はじめに

日頃より本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
お子様の学力や学習習慣を育てる上で、家庭学習は学校と家庭をつなぐ大切な時間です。
ここでは、家庭学習の意義や考え方、家庭での効果的な取り組み方についてご案内いたします。

2 家庭学習の意義と考え方

下川小学校では、自主学習や宿題等、家庭で行う学習の総称を家庭学習として押さえています。



学年が上がるにつれて、自主学習の時間を増やし、自分で課題を見つけたり、学び方を選んだりして主体的に取り組むことができるようにと考えています。家庭学習の意義については、以下の4点を挙げます。

①学習内容の定着

授業で学んだ内容は、家庭で短時間でも復習することで、理解が深まり確かな力になります。
特に、計算・漢字・語彙力・基本技能などは繰り返しが重要です。

②自分で学ぶ力を育てる

- ・学習の計画を立てる
 - ・時間の使い方を考える
 - ・わからないときの対処法を身につける
- など、将来につながる「学習スキル」を育てます。

③学習習慣の確立

学年が進むにつれ学習内容が増えるため、毎日机に向かう習慣づくりが中学校以降の大切な基盤となります。

④家庭と学校をつなぐ

宿題や自主学習をみることで、
・学校でどのような学習をしているのか
・お子様がどこを苦手としているのか
などがわかり、お子さんの学習状況が把握でき、学校との連携がよりスムーズになります。

3 家庭学習時間のめやす

学年×10分+10分が推奨されています。

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
目安時間	20分	30分	40分	50分	60分	70分

※下川中学校での理想とする家庭学習時間は80分程度となります。

※習い事等ご家庭の事情やお子様の体調などにより、調整していただいても構いません。

4 家庭学習の基本的な内容

①学校から出される宿題

- ・プリント ・音読 ・計算 ・漢字など

1 下川小学校としての宿題の方針

- (1) 短時間で終わる量にします → 学年に応じて、無理なく取り組める分量を設定します。
- (2) 目的のある宿題を出します → 「やることが目的」にならないように、内容と意図を明確にします。
- (3) 一人一人の生活リズムに配慮します → 家庭ごとの事情により、できない日があっても構いません。
- (4) ICTの活用も行います → 実態に合わせて、タブレットを活用した課題も取り入れます。

2 宿題に関わる保護者の皆様へのお願い

宿題は、「保護者の方が教えるもの」ではなく、お子様自身が取り組むものです。

以下のようなサポートをいただくと学習の質が高まります。

- (1) 落ち着いて取り組める環境づくりをお願いします
- (2) 「がんばったね」と認めたり励ましたりする声かけをお願いします
- (3) わからないところがあれば無理をさせず、翌日学校で質問できるように促してください
- (4) 宿題の量や内容で気になることがあれば、遠慮なく学校へご相談ください

②自主学習 ※別紙各学年の家庭学習の手引きをご確認ください。児童には、児童自身が読めるものを配付します。

- ・漢字練習や言葉しらべ
- ・苦手な問題の解きなおし
- ・読書（要約したり、感想やあらすじをまとめたりするのも効果的）
- ・興味関心に基づく調べ学習やまとめ など

5 家庭学習時間を進めるポイント

(1) 計画を立てる

- ・「今日は何をするか」を明確にする ・宿題と自主学習のバランスを決める

(2)集中できる環境づくり

- ・テレビ、ゲームを遠ざける ・机の上を整える ・姿勢を整えて取り組む

(3)振り返りを書く

- ・できたこと ・わからなかったところ ・明日のめあて

※日々の積み重ねが学びの質を高めます。

6 おわりに

家庭学習は、お子様一人一人の力を育てる大切な取り組みです。

今後も学校と家庭が連携し、子どもたちの学ぶ力を伸ばしていきたいと考えております。

引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

かていがくしゅうのてびき

しもかわしょうがっこう
1ねんせい

がくしゅうを はじめるまえに…

- ★きまったじかんにしましょう。
- ★テレビをけしましょう。

がくしゅうじかんのめやす
20ぷん

1. はじめに しゅくだいをします。

(わからなかったもんだいは、

つぎのひにせんせいにききましょう)



2. つづいて つぎのような じしゅがくしゅうを しましょう。

こくご	さんすう	そのほか
きょうかしよをよむ	きょうかしよのもんだい	どくしよ
ひらがな・カタカナ	たしざん・ひきざん	じてんやずかんでしらべる
かんじ	とけい	
きょうかしよをうつす		
につきをかく		

1ねんせいで こんなことが できるようにしよう

- ◇えんぴつを ただしくもって、じをかける。
- ◇おおきなこえて、ほんがよめる。
- ◇ひらがな、カタカナがよめる、かける。
- ◇ならったかんじをよめる、かける。(80じ)
- ◇じゅんじょよく はなせる、かける。
- ◇「は」、「を」、「へ」を ただしくつかって、ぶんをかける。
- ◇たしざん、ひきざんができる。
- ◇とけいがよめる。

家庭学習の手引き（1～6年共通）

児童のみなさんへ ～家庭学習をはじめる前に

1 何を学習するか、決めましょう。

(1) 復習…学校で勉強したことをもう一度やってみよう。

(2) 予習…これから学習する内容に取り組んでみよう。

(3) 自主学習…自分できめた学習や読書に取り組んでみよう。

※宿題でわからないところがあれば、学校で先生に聞きましょう。

保護者の方へ

1 落ち着いて学習に取り組むことができる環境づくりをお願いします。

2 認めたり励ましたりする声かけをお願いします。

3 わからないところがあれば無理をさせず、翌日学校で質問できるようにうながしてください。

4 宿題の量や内容で気になることがあれば、学校へご相談ください。

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
時間	20分	30分	40分	50分	60分	70分
取り組みの割合（めやす）						
読書	読書習慣づくり					